

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月17日更新

事務事業名		都市大津地区学校等警察連絡協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木 洋治
	施策	19	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	佐伯 幸治
	基本事業	62	徳育の推進			所属班	学務指導班	(内線)	2233
予算科目		会計一般	款 10	項 2	目 1	事業連番 10639 他	法令根拠	なし	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	学校等における生徒指導、家庭に対する指導等に効果的に反映させ、学校、家庭、地域社会等に共通の問題意識の醸成を図り、児童生徒の非行防止と健全育成に努めるため始まった。非行年齢の低年齢化や子どもを取り巻く地域社会の変化する学校と警察との連絡協議会に参加し、お互いの情報交換や研修会を実施し、学校等における生徒指導、家庭に対する指導等に効果的に反映させ、学校、家庭、地域社会等に共通の問題意識の醸成を図り、児童生徒の非行防止と健全育成に努める。
【業務の流れ】	大津地区学校等警察連絡協議会への参加、負担金支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	学校と警察との連絡協議会に参加し、お互いの情報交換や研修会を実施し、学校等における生徒指導、家庭に対する指導等に効果的に反映させ、学校、家庭、地域社会等に共通の問題意識の醸成を図り、児童生徒の非行防止と健全育成に努めた。	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア 協議会開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	学校教職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア 問題行動の発生件数 件
		イ 不登校の出現率 %
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	学校等における生徒指導に効果的に反映させ、児童生徒の非行防止と健全育成に効果を上げさせる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア 問題行動の発生件数 件
		イ 不登校の出現率 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
学校等における生徒指導に効果的に反映させ、児童生徒の非行防止と健全育成に効果を上げさせるため。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 回		12	12	12	12	12	12	12
	イ 件		360	381	360	402	420	420	420
② 対象指標	ア 件		0	0	0.7	0.9	0.7	0.7	0.7
	イ %		10	9	6	9	6	6	0
③ 成果指標	ア 件		1.3	1.1	0.6	0.9	0.6	0.6	0
	イ %								0
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	102	104	104	99	99	104
	(A) 事業費計	千円	102	104	104	99	99	104	104
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	104	99	99	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	6	6	6	22	6	6	6
	(B) 人件費計	千円	24	23	23	90	24	24	24
トータルコスト(A)+(B)		千円	126	127	127	189	123	128	128

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	郡市大津地区学校等警察連絡協議会参画事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	----------------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 学校等における生徒指導に効果的に反映させ、児童生徒の非行防止と健全育成に効果を上げさせる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 問題行動の発生件数や不登校の出現率について常に目標を上回るようにする
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業無し
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事業費であり削減余地はない
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間であり削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により一部の個人又は団体が利益を受けるものではない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 教委・学校、その他関係機関と協力をしていく

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

学校等における生徒指導に効果的に反映させ、児童生徒の非行防止と健全育成に効果を上げさせた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						